

金 館 (4月4日)

- ◎ サマーワ主力
 - 人員・武器・装具、具状なし
 - 警備態勢：[REDACTED]
 - 人道復興支援関連
 - ◆ 医療：保健局定例会同参加（サマーワ）
 - ◆ 学校等の公共施設の復旧・整備
 - ・ 学校の改修：
 - ルメイサ女子中学校完成点検（ルメイサ）
 - 別紙第1「ルメイサ女子中学校完成点検（ルメイサ）」
 - 9カ所（ルメイサ、サマーワ×5、マジット、スウェイル、ナジミ）での役務作業
 - ・ 道路の改修：
 - 道路局定例会同参加（サマーワ）
 - アピンリッシュ地区道路（第2期工事）施工開始
 - 3カ所（サマーワ×3）での役務作業
 - ・ PHCの改修：
 - 3カ所（サマーワ、プサイヤ、ワルカ）での役務作業
 - ・ 給水関連施設の改修：
 - 3カ所（サマーワ×2、ワルカ）での役務作業
 - ・ 青年・女性・福祉関連施設の改修：
 - アル・アメル養護施設施工開始
 - 7カ所（サマーワ×5、ルメイサ）での役務作業
 - ・ 清掃事業関連施設の改修：
 - 民生局ガレージ施工状況確認（サマーワ）
 - 別紙第2「民生局ガレージ施工状況確認（サマーワ）」
 - 1カ所（サマーワ）での役務作業
 - ◆ 人道復興関連物資等の輸送
 - ・ 寄付関連物資の輸送調整（宿营地）

金 館 (4月4日)

- 宿营地関連施設の整備
 - ・ 医務室耐弾補修作業
 - ・ 出島プレス地区の測量
 - ・ 浴場排水施設の構築
 - ・ 耐弾CP橋の整備
 - ・ コンテナ後送作業
- その他
 - ・ 対外発信関連：FUJ14月号原稿調整（宿营地）
 - ・ 供与RO浄水機修理完了につき、午後から配水を開始したが、配水量確認できず。明日、改めて細部確認する予定。
 - ・ 4月4日まで計約8,260t（約1,835,000人分）配水（4.5リットル/人・日換算）
 - ・ 4月4日現在の雇用人員
 - 医療（PHC等）71名、学校修復285名、道路補修17名、青年・スポーツ関連143名、清掃事業関連16名、給水関連52名、通訳58名、警備40名、給仕1名、ゴミ処理3名、し尿処理3名、清掃3名、土嚢解体作業20名、エンジニア2名、タクシー20名、床屋2名、弁護士1名、アドバイザー1名、電気工等3名、T-レックス操作等2名

計668名

● 概 (4月4日)

- ① クウェート分遣班
 - ・ 国境通過支援
 - ・ 検品・車両点検
 - ・ 現地調達
 - ・ 来訪者対応 (中方総監)
- ② バクダッドLO
 - ・ 恒常業務
- ③ バスラLO
 - ・ 恒常業務
- ④ スミッティLO
 - ・ 恒常業務
- ⑤ クウェート大使館LO
 - ・ 恒常業務

● 随自人道復興支援活動(補修等)の概要(4月4日成果/学校)

<p>7L-ネワラス小学校(7L5)(017~3月下旬)</p> <p>活動全校 校舎2階建て、両電線設置、トイレ補修 27名/日雇用</p>	<p>7L-ルメイサ女子中学校(7L19)(1027~3月下旬)</p> <p>活動全校 壁、トイレ、電気配線の補修等 1名/日雇用</p> <p>活動状況 完成点検実施</p>
<p>7L-ハワーン小学校(7L7)(22~3月下旬)</p> <p>活動全校 壁、床、トイレ、電気配線の補修等 60名/日雇用</p>	<p>7L-シャーン小学校(7L17)(118~3月下旬)</p> <p>活動全校 壁、床、トイレ、電気配線の補修等 80名/日雇用</p>
<p>7L-ホルト小学校(7L7)(24~3月下旬)</p> <p>活動全校 壁、床、トイレ、電気配線の補修等 26名/日雇用</p>	<p>ハビブ・ファン・タール小学校(7L16)(118~3月下旬)</p> <p>活動全校 壁、床、トイレ、電気配線の補修等 26名/日雇用</p>
<p>7L-ザハラ女子中学校(7L7)(112~3月下旬)</p> <p>活動全校 壁、床、トイレ、電気配線の補修等 38名/日雇用</p>	<p>7L-ミラク中学校(7L7)(112~3月中旬)</p> <p>活動全校 壁、床、トイレ、電気配線の補修等 12名/日雇用</p>
	<p>7L-7L男子中学校(7L7)(1120~3月下旬)</p> <p>活動全校 壁、床、トイレ、電気配線の補修等 0名/日雇用</p> <p>活動状況 竣工式終了</p>

装備の現況(武器)

		武器						
		単銃	89小銃	64小銃	MINIMI	12.7mm重機関銃	84RR	信号単銃
I Q	サマワ							
	シャイバ							
	バストラ							
	タリル							
	バクダット							
	計							
K W	キャンブVA							
	キャンブドーハ							
	計							
総 計								

装備品等の可動・不可動の状況①

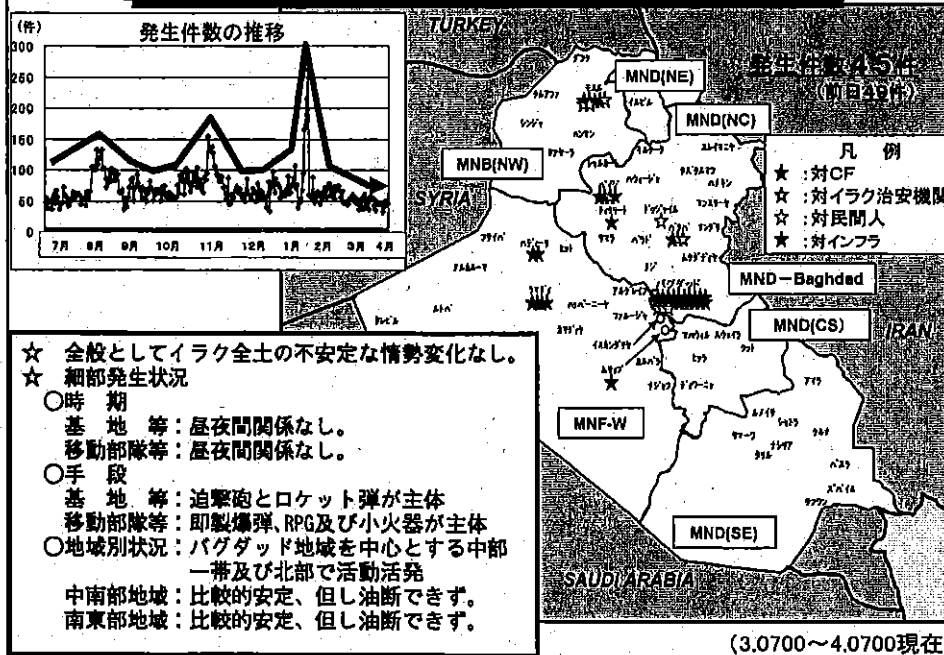
項 目	総 数	可 動	不 可 動	未 使 用	不可動の内容	備 考
車 両	203	201	2	0	燃タ×1 吐出ポンプ圧力調整 バルブ摩耗 WAPC×1底板亀裂	整備待ち 処置検討中
中型ドーザ	1	0	1	0	油漏れ(トルコン油圧ホース不良)	部品待ち
酷暑用冷凍冷蔵車	8	5	3	0	発電機コンプレッサ冷媒漏れ	整備調整中
コンテナスキャナー	2	1	1	0	No2:画像映らず	故障探求中
エアコン	657	634	0	23		
発動発電機(6kw)	89	65	16	18	オイルシール不良×13 エンジントレイン不良×3	部品待×7 整備待×6 部品待×3
発動発電機(25kw)	70	63	6	2	オイルシール不良×5	部品待×5
発動発電機(60kw)	59	34	0	25		
発動発電機(180kw)	17	17	0	0		
遠距離大量送水システム	6	4	1	0	エンジン不良	後送中

装備品等の可動・不可動の状況②

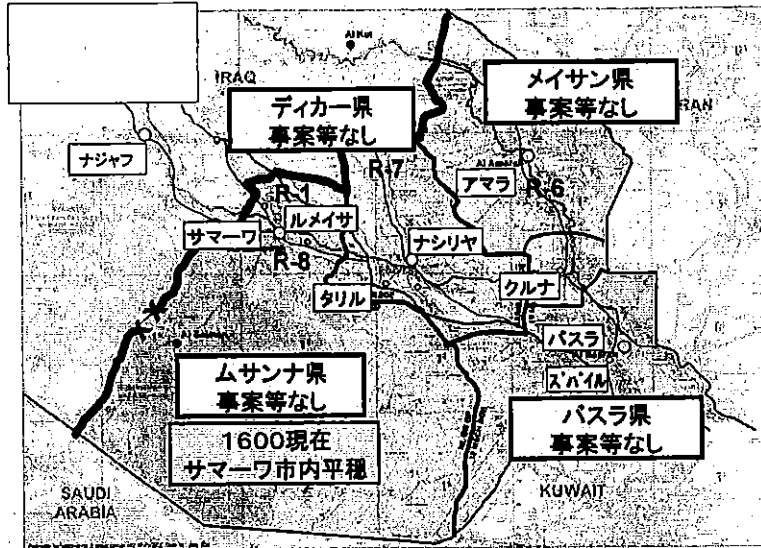
項目	総数	可動	不可動	未使用	不可動の内容	備考
浄水セット	官品	4	4	0	0	
	民生	2	2	0	0	
遠距離監視システム	昼用					
	夜用					
近距離監視システム						
近距離暗視装置(V7)						
微光暗視装置(V3)						
空中監視装置						

事案等の発生状況(昨日)

注意



細部事案等の発生状況 (3日1600~4日1600)



石油関連施設に関する情報

【タンクローリー休憩所新設】

- 4月から開設を確認
- バスラ~ナジャフ方面のドライバー利用
- 休憩:5ドル、1泊仮眠:15ドル
- 四周をAK47携行の警備員(ブルハ族?)が警備

<評価>

多数のタンクローリーが休憩することから、テロ及び出入り口での交通事故等が懸念

【英軍が石油精製所支援】

- 03年の航空攻撃により破壊
- 昨年10月頃から月1回車両3両程度で訪問、警備員・作業員等を地元から雇用(約200名、300ドル/月)
- 英軍展開以降、固定監視及び移動巡察増加(車両は英軍提供)
- 来年ははじめの作業目指し修復中(現在原油の搬入が実施されている)



<評価>

- 英軍の復興支援の一部か別の企図があるかは情報収集中
- 地元住民を多く雇用している点に注目

イラク全土の全般情勢評価 (4.4)

(4月1日報告以降変化なし)

区分	内容	備考
全般	バグダッド中心に、中北部において武装勢力による多国籍軍及びイラク治安部隊に対する攻撃継続 (北部(モスル)での攻撃増加) 国民議会開催に連携した施設・多国籍軍・イラク治安機関への攻撃急増の傾向は特に見られず(総件数は減少傾向)	3/25追加 3/29追加
スンニ派過激派	数週間は現在のレベルでの活動(反多国籍軍・イラク治安部隊・移行政府)を継続(急激な過激化への兆候はなし)	
パース党残党	「反占領」を主眼に今後も脅威であり続ける	
国際テロリスト	選挙結果はテロリストにダメージを与えず→暴力と恐怖による方法(テロ)は今後も継続	
サドル派	民心の掌握(ソフト路線)継続。一方で民兵の再編成、再構築実施→イラク軍への参加も企図	
特記事項(トレンド)	焼夷効果を狙ったIEDの使用が再開 →多国籍軍車両の重装甲化への対抗策とみられる 爆発物処理隊を狙ったIEDが増加傾向(9月以来5件) →最初のIEDの下に2番目が隠されており爆発物処理隊の処理時に爆発	

イラク南東部の全般情勢評価 (4.4)

(4月1日報告以降変化なし)

区分	内容	備考
全般	比較的安定、但し、多国籍軍/SCIRI(シーア派政党)に対する脅威情報あり	3/10追加
スンニ過激派 国際テロリスト FRE	●多国籍軍が駐留する限り攻撃は継続 ●パース党残党による多国籍軍への攻撃の可能性	3/29追加
サドル派	●行政機関への勤務、貿易の促進を提唱 ●サドル師の指示に従わない一部勢力の存在 → 最近の攻撃は同勢力関与の可能性あり ●民兵組織の再構築→将来的にはイラク治安部隊参加を企図	3/13修正
MSR・ASR	・IED・自動車爆弾、友軍相撃、ロードバイク、子供飛出しカー ジャックがMSRタンパ、ASRサークル上で発生 ・ASRサークル路面状況悪化(MSRタンパは4/20頃開通予定)	
タリル空港	・食堂に対する自爆テロ情報(業者に偽装)あり ・IED・自動車爆弾、不発弾、空港への迫撃砲攻撃に警戒	3/14追加

ムサンゲ県の全般情勢評価 (4.4)

注意

(4月3日報告以降変化なし)

区分	内容	備考
全般	・比較的安定、しかしながら油断できず ・英軍に対する市民の反応は、「様子見」の状態か →明確な敵意等の表示は市内で見られず	4/2修正 3/13追加
スンニ過激派 国際テロリスト	・スンニ派テロリスト等が活動する可能性は低いが、県外からの流入、他地域での活動のための準備等のため存在する可能性あり ・アルバイーン最終日、シーア派モスク等を狙った車両爆撃攻撃の可能性(カルバラ・南部都市)	3/12追加
サドル派	・切迫した緊張感なし(蘭・英軍とサマーワ代表会談) ・サドル派民兵については特異動向なし	3/5追加
部族関連	土地交渉等に不満を持つ一部の部族関係者が迫撃砲、又はロケットによる攻撃(脅し)を実施する可能性	
選挙関連	・アルバイーン終了につき、各種デモ(反知事・雇用要求等)が突発的に生じする可能性→市内活動は注意	4/3追加

現地の気象情報

報告内容

サマータイム

日の出 : 0644

日の入り: 1921

天候 : 晴れ

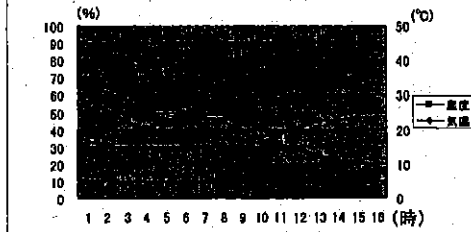
気温 : 最高23.5℃、最低13.6℃

 : 最高27.0℃(直射日光下)

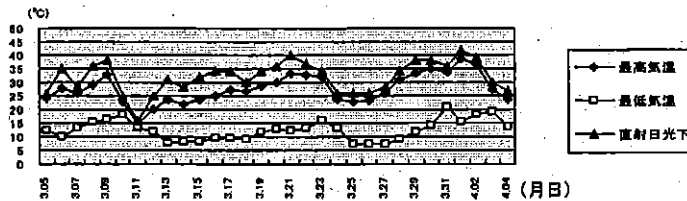
湿度 : 35.8%

風速 : NW 3~6 m/s

気温・湿度推移(サマータイム)



月間推移



4月5日(火)の活動予定

サマーワ本隊			
群長(J1)	業務支援隊長(J2)	人員輸送(J3)	対外調整(J21)
0810-0830: モーニング・ミーティング			
1130~: 方面総監視察受け対応 (1300-1330): 10DTV電話会議 1410: 視察開始 1430: 宿営地発 方面総監RO、サマーワ市内及び各ゲート視察(JX) 1610: 宿営地着 電話会議終了後: 総監との夕食会 別示: 総監との指揮官等懇談	1130~: 方面総監視察受け対応 1410: 視察開始 1430: 宿営地発 方面総監RO、サマーワ市内及び各ゲート視察(JXに同行) 1610: 宿営地着 1700-1800: 総監との夕食会 別示: 総監との指揮官等懇談	終日: タリルAB発	0840: 宿営地発 0900-1030: サマーワ市南部道路現地偵察 1100: 宿営地着
1615-1645: イブニング・ミーティング 1715-1745: MND(SE) 指揮官電話会議(群長)			
人員23名 車両5両 (LAV×5)	移動は、JXによる	人員11名 車両3両 (LAV×3)	人員14名 車両3両 (LAV×3)

4月5日(火)の活動予定

サマーワ本隊			
施設支援(J7)	医療支援(J8)	情報収集(J101)	情報収集(J102)
0815-0835: モーニング・ミーティング			
0800: 宿営地発 0830-0910: アル・ミサック中学校 現地偵察(サマーワ) 0920-1000: アル・イザハラ女子 中学校現地偵察(サマーワ) 1030: 宿営地着	0820: 宿営地発 0850-1130: 総合病院医療技術指導(サマーワ) 1200: 宿営地着		
1815-1845: イブニング・ミーティング 1715-1745: MND(SE) 指揮官電話会議(群長)			
人員15名 車両3両 (LAV×3)	人員21名 車両4両 (LAV×3) (HMV×1)		

4月5日(火)の活動予定

サマーワ本隊			
情報収集及び警戒(J103)	情報収集及び警戒(J104)	GRF(J20)	バスラLOの行動(JBS)
0810-0830: モーニング・ミーティング			
			0830: バスラ基地発 0950: ナビスタ 1120: CV着(泊)
1615-1645: イブニング・ミーティング		1715-1745: MND(SE)指揮官電話会議(群長)	
			人員2名 車両1両 (HMV×1)

4月5日(火)の活動予定

サマーワ本隊			
中方総監視察受け(S2)	役務警備員配属(S6)	警衛(S11)	浄水活動(S12)
0810-0830: モーニング・ミーティング			
1130-別示	0530: 宿営地～運河警戒位置 ～宿営地 1130: 宿営地～運河警戒位置 ～宿営地 1930: 宿営地～運河警戒位置 ～宿営地		0730-1200: 大量送水システム 整備・運転
1615-1645: イブニング・ミーティング		1715-1745: MND(SE)指揮官電話会議(群長)	
群S-1計画	警備中隊計画		給水隊計画

4月5日(火)の活動予定

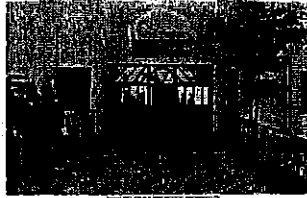
サマーワ本隊			
宿営地内工事・作業(S13)	群主力の行動(S15)	空中監視活動(S16)	
0810-0830: モーニング・ミーティング			
0800-1600: 医務室耐震補修作業 0800-1600: 出島プレス地区の測量 0800-1600: 浴場配水施設の構築 0800-1600: 耐震CP横の整備 0800-1600: コンテナ搬送作業	1130~方面総監視察受け対応 1300-1600: 整備 1700-1800: 総監との夕食会 別示: 総監との指揮官等懇談	0730-0730	
1615-1645: イブニング・ミーティング 1715-1745: MND(SE)指揮官電話会議(群長)			
施設隊等計画	群S-3計画	群S-2計画	

4月5日(火)の活動予定

クウェート分遣班	バクダッドLO	バスラLO	スミッティLO	クウェート大使館LO
<ul style="list-style-type: none"> ・ 検品・車両点検 ・ 戦力回復支援 ・ 来訪者対応 (中方総監) ・ バスラLO交代支援 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 恒常業務 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 恒常業務 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 恒常業務 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 恒常業務

ルメイサ女子中学校完成点検

別紙第1



正面玄関



校舎全景

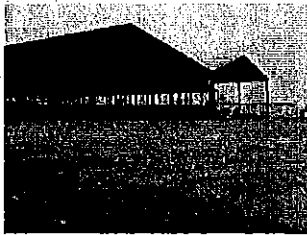


完成点検実施中の隊員



民生局ガレージ施工状況確認(サマーフ)

別紙第2



ガレージ全景



施工中の状況



施工状況確認中の隊員



バグダッドLO (4.0.3.10)

- 治安情勢: 別途「イラク復興支援群活動報告」第3項「現地の治安状況等」確認
- 警備態勢: [REDACTED]
- 群長指導事項:

一本日の報道にもあるように、養護施設の補修といった事業をアピールすることは、随自の活動として非常に効果がある。事業を選定した対外調整と広報との連携も良かった。このような新しい事業を開拓して、一生懸命実施している随自の姿をイラク及び日本の人々に知ってもらうことはとても大切である。今後とも地元の人々のニーズをくみ取りながら、喜ばれる事業を選定していくのは業支隊の重要な任務である。今回は、本当に良くやってくれた。

バグダッドLO (4.1.6.15)

- 治安情勢: 別途「イラク復興支援群活動報告」第3項「現地の治安状況等」確認
- 警備態勢: [REDACTED]
- 群長指導事項

一数字というものは一人歩きがちであり、十分に注意する必要がある。カウントの間違いや、単なる誤植であっても、一端ペーパーになれば変更がきかない。ペーパーを作成する際は、必ず、右上に日付と所掌を入れて、誰がいつ作成したのかを明確にする必要がある。同時に、「〇〇日付のものについては破棄」と付記し、常に最新のデータで認識を統一する必要がある。いずれにしても、数字については念押しして確認することが必要である。

区分	内容
1 警備態勢等	(1) サマーワに直接影響を及ぼす脅威 [REDACTED] (2) イラク全域に係る脅威レベル サマーワ及びバスラは [REDACTED] バグダッドは [REDACTED] モスルは [REDACTED]
2 特記事項	なし
3 本日の業務	(1) C2勤務 昼間 (0900-2100) 勤務: [REDACTED] 夜間 (1930-0730) 勤務: [REDACTED] (2) 情報収集及び情報資料の送付等 ア 業支隊情報要求対応 ム サンナ県以外のCIMIC情報収集経路 (3科) イ C2スタッフ送付件数 6件 (3) 群長のSNRカンファレンス参加に関する調整 (4) 車両整備
4 明日の予定	(1) 情報収集及び業務調整 情報要求対応及び副司令官訪問関連調整
5 その他(備考)	なし



バグダッドLO日々業務報告(4月4日1900)



バスラLO日々業務報告(4月4日1900)

区 分	内 容
1 警戒態勢等	バスラ空港ともに変化なし ・脅威レベル：[REDACTED] ・警戒態勢：[REDACTED]
2 特記事項	(1) CFLCCが計画予定の航空機を使用したMSR・ASRの空中監視・偵察活動 (Op Aerospace)について J3会議において言及されたものであるが、MND(SE) 管内のMSR・ASR扱いで実施されることからその概要(聞き取り)を紹介するもの ア 計画・実施担任：CFLCC(Coalition Forces Land Component Command) イ 作戦の概要 (7) ISTARの一環として、航空機をもって主にMSR(タンバ)及びASR(サークル)上の空中監視・偵察を常続的にを行い、IEDを含むAIF活動を探知するもの (イ) 実施期間：4月中旬～4月末(細部未定) (ロ) 使用航空機：米軍の固定翼及び回転翼 (2) 実施要領 ・固定翼により夜間2回の監視・偵察飛行 ・回転翼により夜間6回の監視・偵察飛行 ※MND(SE) が本作戦にどの様に関わるかは現在不明なるも、本作戦の結果、責任区域内においてIEDを含むAIF活動が探知された場合は、CS及びEODチームを派遣する等の対応行動がとられるものと思料 ※CFLCCからのFRAGOは未発出であるが、4月6日(水)にCFLCCとの調整会議が実施される模様であり、継続的に情報収集を図る予定。 (2) 4月中旬から5月末まで、4Armd Bdeから12Mec Bdeへの部隊交代に伴い、バスラ基地の外來宿泊施設の使用に著しい制約がある模様 ※この間、陸路移動による警備中隊を伴ったバスラ訪問は宿泊所の確保上困難であり、空路移動等によるバスラ訪問を支援3科と調整中

区 分	内 容
3 本日の業務	(1) 輸送梯隊等不測事態対応待機 (2) 情報要求対応 ア ムサンナ、MSR(タリル空港を含む)関連脅威 イ 中期・長期情報要求対応 SSR(ISFの戦力化の状況)、豪軍展開関連、BLUE on BLUE関連、MND(SE) OPO 02-05関連 (3) 定例情報収集 [REDACTED] (4) 定例会議への出席：司令部朝会議・夕会議、J2認識統一会議、J3認識統一会議 (5) UNスタッフのサマーワ訪問調整：4月5日～6日訪問予定、訪問者のパイオを送付
4 明日の予定	(1) コンボイ等不測事態対応待機 (2) 情報要求対応、定例情報収集 (3) 定例会議への出席 (4) 4月13日指揮官会議等の調整
5 その他(備考)	特になし

クウェート分遣班業務報告

17.4.4

全 般

○国内情勢等 ○人員・武器等異状なし ○人員報告:所属人員24名、事故人員2名(戦力回復2名) ○支払業務、車両点検、来訪者対応準備等実施	現在員22名	○天候:晴 ○気温:21~37℃ (直射日光下の最高気温46℃)
--	--------	--

本日の活動状況

恒常業務	その他
○国境通過支援(ナビスタ) LAV2両により役務輸送を誘導し国境を通過、通過後掃隊 ○検品・車両点検(クウェート市内) 燃料の検品、輸送車両の点検 ○現地調達(クウェート市内) 消耗品	○来訪者(中方総監)対応(クウェート国際空港、ムバラク基地) ・クウェート国際空港での出迎え ・在クウェート大使表敬支援 ・キャンプバージニアにおいて状況報告・施設案内

明日の予定

恒常業務	その他
○検品・車両点検(クウェート市内) 糧食の検品、輸送車両の点検 ○戦力回復支援(クウェート国際空港~キャンプバージニア) 戦力回復終了者の輸送 ○バッドミーティング(キャンプバージニア) キャンプバージニアの管理事項について	

その他(教訓・要望事項等)

特になし。